

凧待ち (2018)

メディア 映画

ジャンル ドラマ サスペンス ギャンブル・博打

製作国 日本

色彩 Color

時間 124分

初公開日 2019/06/28

公開情報 キノフィルムズ

映倫 PG12

【キャッチコピー】

誰が殺したのか？

なぜ殺したのか？

【解説】

「凶悪」「孤狼の血」の白石和彌監督が「ギャラクシー街道」「クソ野郎と美しき世界」の香取慎吾を主演に迎えて贈るヒューマン・サスペンス。再起を誓ったろくでなし男が、不条理な運命に翻弄されながら周囲の人々と織りなす愛と暴力の人間模様を切なくも力強い筆致で描き出す。共演に恒松祐里、西田尚美、リリー・フランキー。

ギャンブル依存症で、定職にも就かず無為な毎日を送る木野本郁男。恋人でシングルマザーの亜弓とその娘で高校生の美波のためにもとギャンブルから足を洗い、亜弓の故郷・石巻に移り住み人生をやり直す決意をする。実家では末期がんに侵されながらも漁師を続ける亜弓の父・勝美がひとりで暮らしていて、ご近所の小野寺が何かと世話を焼いていた。そんな中、郁男は印刷会社で働き出し、再起に向けた新生活がスタートする。ところがある日、亜弓と衝突した美波が夜になっても戻らず、心配でパニックになった亜弓に八つ当たりされた郁男は、彼女を車から降ろし、置き去りにしてしまう。その後、亜弓は何者かに殺され、遺体となって発見される。責任を感じ、次第に自暴自棄となっていく郁男だったが…。

【クレジット】

監督	白石和彌
製作総指揮	木下直哉
プロデューサー	椎井友紀子 赤城聡
脚本	加藤正人
撮影	福本淳
美術	今村力
衣装	高橋さやか
編集	加藤ひとみ
音響効果	柴崎憲治
音楽	安川午朗
音楽プロデューサー	津島玄一
照明	市川徳充
録音	浦田和治
装飾	京極友良
ヘアメイク	有路涼子

VFXスーパーバイザー	小坂一順	
助監督	小野寺昭洋	
出演	香取慎吾	木野本郁男
	恒松祐里	昆野美波
	西田尚美	昆野亜弓
	吉澤健	昆野勝美
	音尾琢真	村上竜次
	リリー・フランキー Lily Franky	小野寺修司